

# 連載

## 宇宙を観じる生活を！（20）

～黄華堂ブログより～

黄華堂（代表：有本淳一、黄華堂ブログ編集長：小林 弘）

### 1. はじめに

黄華堂は「子どもたちに本物の星空を！」をモットーに、関西を中心に観望会などの活動をしているボランティアグループです。観望会以外にも、1人でも多くの人に星を見てもらうきっかけになるように、黄華堂ブログ[1]として、星空案内や天文に関する情報をご紹介します。また、ブログの更新はTwitter[2]・Facebook[3]にて通知しています。

### 2. 黄華堂ブログの内容

今回は4月から更新し始めた黄華堂ブログの中から、「世界で星はこう言い伝えられて来た」、「宇宙×」の2つの記事をご紹介します。

#### 2.1 世界で星はこう言い伝えられて来た

人生はよく旅に例えられます。人は人生において、目標があるとそれに向かって頑張ります。ただ、目標がないとふらふらと毎日を過ごしてしまいがちですよね・・・笑。

旅も同じように、目標がないとどこに向かえばよいかわからず、迷子になってしまいます。しかし旅にはちゃんと不動の目標があります。それが「北極星」です。北極星は地球の自転軸を北極側に延長した線上近くに位置するため、地球上から見るとほとんど動きません。そのため古くから、夜間に海の上や砂漠などで方角を知るために使われていました。

シリアからアラビア半島、エジプト北部のリビア砂漠にはベドウィン（砂漠に住む者）という遊牧民達がありました。ベドウィンが最も口にする星の名前は「アル・ゲディ」でし

た。この「アル・ゲディ」は北極星のことで、ベドウィンの老人達は若者達に「オプトン・アル・ゲディ（北極星に注意しろ）」と、夜を通して砂漠を旅する時の心得を下記の言葉のように伝えられてきました。

北へ進むには、アル・ゲディを馬の行く手に見よ。

北北東へ進むには、アル・ゲディを汝の左の額に見よ。

北東へ進むには、アル・ゲディを汝の左の方に見よ。

東へ進むには、アル・ゲディを鞍の後輪の左に置け。

南へ進むには、アル・ゲディを鞍の後輪のこぶに置け。

さらに、南へ下る時の歌の句に、

スハイルを正面に、アル・ゲディを馬のしりの上に。

（以上引用元：野尻抱影『星と東西民族』[4]）

ベドウィンは馬を移動手段として使っていたので、馬と乗っている人間の各部位を目安に使って、北とそれ以外の方角を決めていたようです。この言葉の中に登場するスハイルは、カノープスのことで北極星に対して南の空の低い位置にある目印となる星でした。アル・ゲディと違いスハイルは方角を教えるだけでなく、雨期の到来を教えてくれる重要な星でした。

砂漠には明かりがなく遥かに多くの星がはっきり見えることでしょう。私達はめったに経験できませんが、砂漠では満天の星によっ

て何を見ているのかよくわからなくなります。このことをベドウィン「星に欺かれる」と言いました。美しすぎる星に一種の恐怖心をいただいていたのでしょうか。ベドウィンはケガをした時に傷口に星の光があたると治らないと言って、急いで天幕へと駆け込んだそうです。

しかし、唯一目が疲れた時に見ると疲れがとれると言われている星がありました。それこそまさにアル・ゲディだったのです。そのような意味でもベドウィンにとって、アル・ゲディという動かない星がいかに特別だったかが読み取れるかと思えます。

（貴村：黄華堂メルマガ6月22日更新）

## 2.2 宇宙×

「宇宙兄弟」を筆頭に、宇宙や星にまつわる「マンガ」が書店で、多く見られるようになりましたね。そんな宇宙にまつわる「マンガ」の中から、今回は「ふたつのスピカ」を紹介します。



図1 『ふたつのスピカ』

柳沼 行 著 / メディアファクトリー [5]

このマンガは、宇宙飛行士を目指す5人の少年少女が、彼らの友情や宇宙への想い、過去との葛藤、いろいろな物を背負いながら成長していく姿を描いたSFファンタジーです。

ロケットの墜落事故で母親を亡くした主人

公の鴨川アスミは、宇宙飛行士を目指すべく「東京宇宙学校」に進学します。そこで同じ夢を持つかけがえのない仲間に出会い、様々な困難を乗り越えながらアスミは仲間とともに、宇宙を目指し進んで行くのです。

様々な困難に直面しながらも、夢に向かいただまっすぐに突き進むアスミを見てみると、たくさんの勇気をもらい、自分も頑張ろう！となれる。そんな作品です。

どんな人にも、好きな物に目をキラキラ輝かせ、一つの事に夢中になる。そんな頃があったと思います。「ふたつのスピカ」を読んでその頃の純粋な気持ちを思い出してみたいかがでしょうか。

（小林：黄華堂メルマガ6月14日更新）

## 文 献

[1] 黄華堂ブログ

<http://oukado.jugem.jp>

[2] 黄華堂 Twitter

<https://twitter.com/oukado>

[3] 黄華堂 Facebook

<https://www.facebook.com/pages/黄華堂/277236582327100>

[4] 野尻抱影（1957）『星と東西民族』，恒星社厚生閣。

ASIN: B000JAWX74

[5] 柳沼行（2002）『ふたつのスピカ』，メディアファクトリー，全188ページ。

ISBN: 978-4840104289